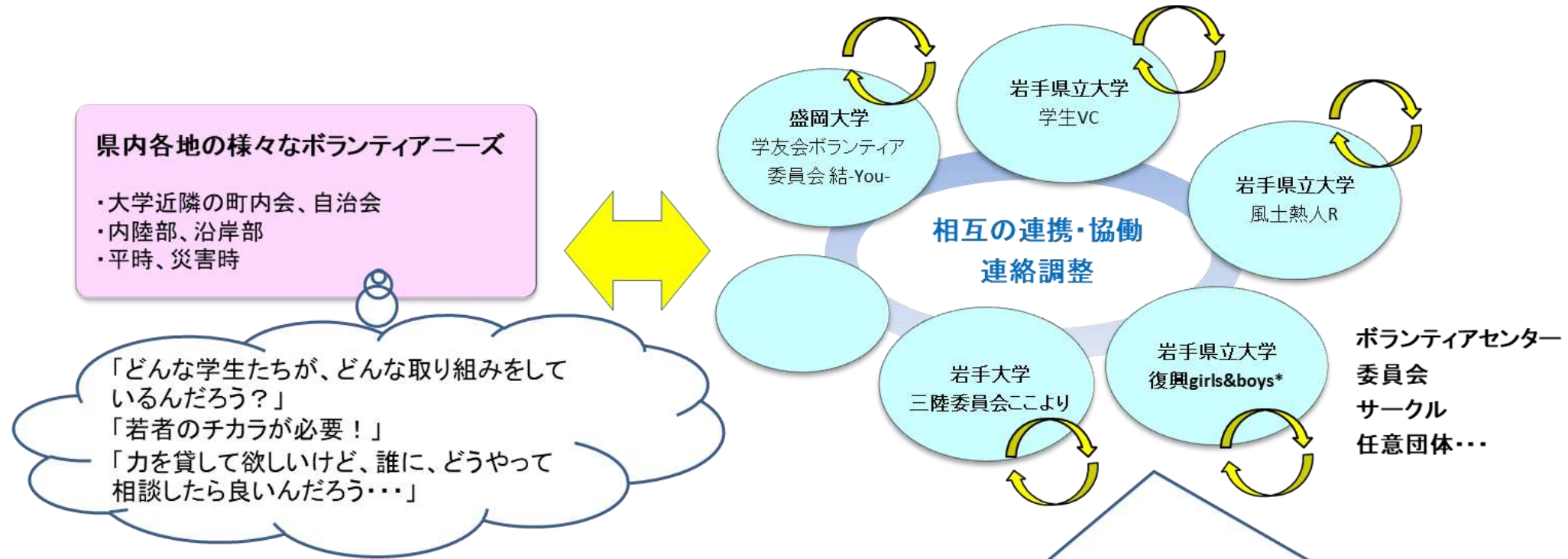


1) いわて学生ボランティアネットワーク ～ネットワークの概要①～



「いわて学生ボランティアネットワーク」の活動

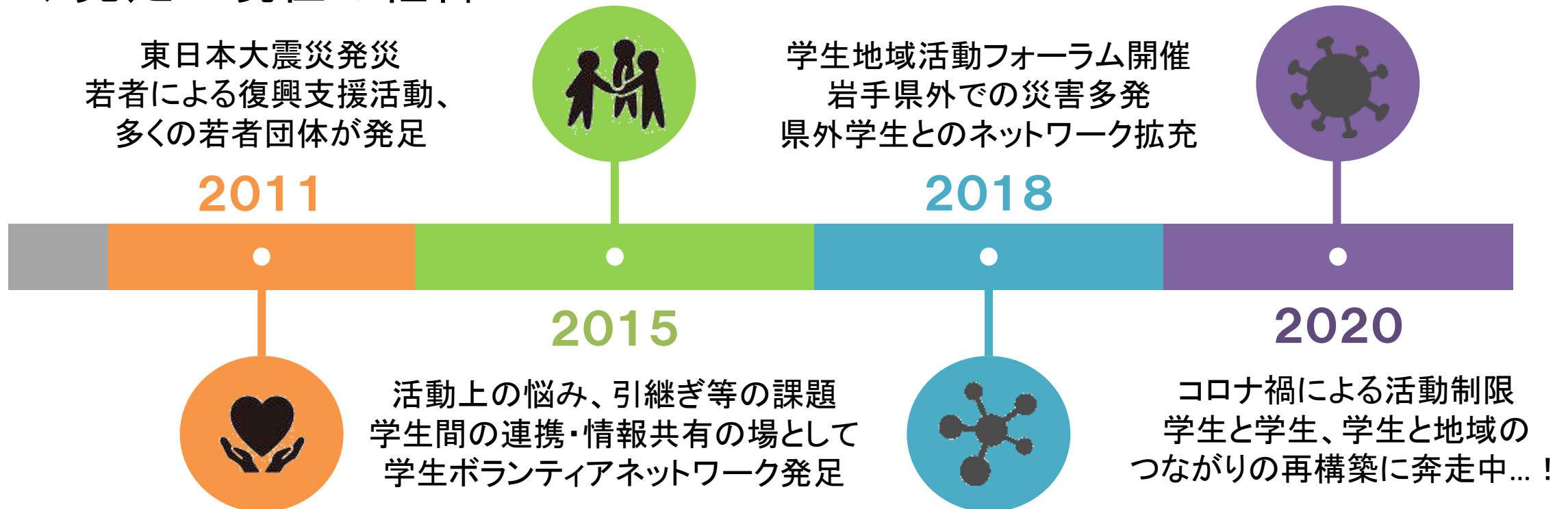
- ・ ボランティア活動に関する情報交換(定期的な連絡会の開催)
- ・ ボランティア活動に関する相互交流(連絡会、研修会)
- ・ 関係機関・団体との連携に関する活動(活動の協働企画)

1) いわて学生ボランティアネットワーク ～ネットワークの概要②～

◆目的

岩手県内の学生相互の連携、連絡、情報共有のもとに、学生相互の連携をより円滑化、促進し、学生による主体的なボランティア活動の発展を推進するとともに、地域と学生の相互のつながりを推進することを目的とする。

◆発足～現在の経緯



2) いわて学生ボランティアネットワーク ～普段の取組み～

▶連絡会・研修会（平時の連携）

定期的に各大学・専門学校などの学生団体間での連絡会・研修会を開催しています。

活動に関する情報交換やそれぞれの学生の強みを活かしたコラボ企画などについて議論しています。



▲連絡会の様子



▲春呼び祭（コラボ企画）

▶有事の時に活かされるネットワーク

災害など有事が発生した時、地域や大学を越えて学生間が連携していくネットワークづくりに取り組んでいます。

これまで熊本地震・台風10号災害（2016）、西日本豪雨（2018）、台風19号災害（2019）、令和4年8月豪雨災害（2022）の際に、被災地域の復旧支援活動のお手伝いをしました。



▲家屋の泥出し作業



▲アウトリーチ活動

2) いわて学生ボランティアネットワーク ～連携事例(一部抜粋)～

▶ 平時の連携事例

★「風土熱人R」×「KIPU*Labo」×「NPO法人いなほ」(2017)

→内陸避難者交流会(滝沢市)でのハンドマッサージ企画

★「三陸委員会ここより」×「復興girls&boys*」(2019)

→「春呼び祭り@陸前高田市」でのブース出展協力

★「風土熱人R」×「ボランティア委員会 結-You-」×「大槌稻荷神社」(2019)

→大槌祭り(大槌稻荷神社)の担ぎ手・巫女ボランティア

★「ボランティア委員会 結-You-」×「三陸委員会ここより」×「大船渡市青年会議所」(2022)

→「ウォータースプラッシュ2022(大船渡JC主催イベント)」の運営ボランティア



▶ 有事の連携事例

★熊本地震(2016)

→熊本県立大学との連携(災害VC運営、学生間ネットワーク構築のノウハウ共有)

★西日本豪雨(2018)

→岩手県内3大学合同街頭募金活動、県外大学との連携による広島県三原市災害VCの運営支援



2) いわて学生ボランティアネットワーク ～連携事例(2019年台風19号)～

○ネットワーク連絡会@岩手大を実施(10/25)
⇒各大学・団体の動きを共有

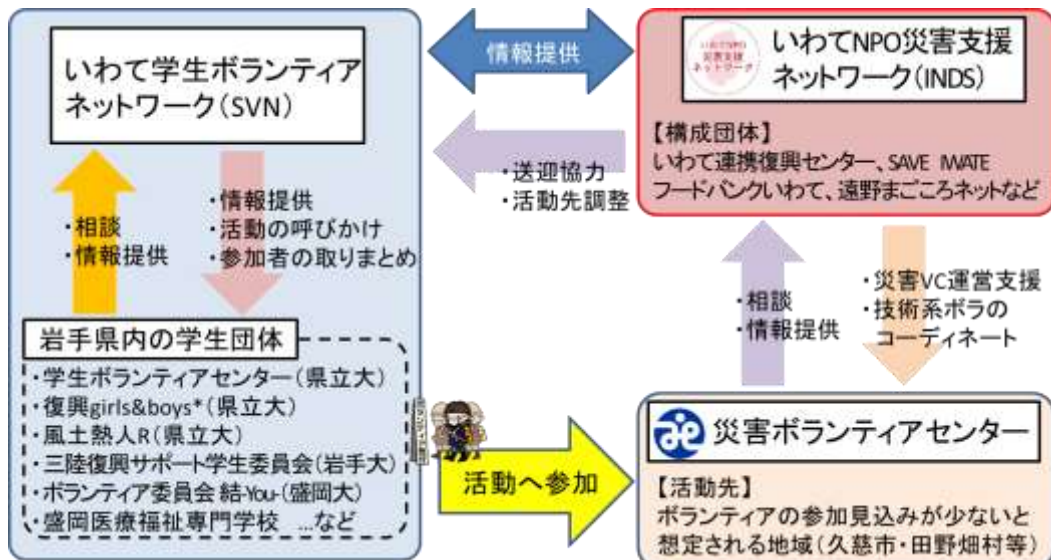
議論の中で挙げられた「**悩み**」

“現地のリアルタイムの情報が分からない”
“学内の動きだけでは現地に行く機会が少ない。
自腹を切ってもレンタカーを借りて行こうとしてる”



『**情報収集(または発信)**』、『**移動手段の確保**』を
いわて学生ボランティアネットワークとしてサポート

○「いわてNPO災害支援ネットワークとの連携」



活動日数 **18** 日

延べ **104** 名参加

2) いわて学生ボランティアネットワーク ～2022年度の取組み①～

事業①「もやもや部」の開催～想いを共有・カタチにできる環境づくり～



若者が普段の生活で物足りなく感じていること、踏み出したいことがあるけどきっかけがない、そんな日常生活の「もやもや(思い)」を持ち寄る「もやもや部」を開催します。「もやもや部」では、参加者が自身の思考を整理したり、一緒に何かを始めてみることで、「部活動」のようなゆるいコミュニティづくりを目指しています！

現在予定しているもやもや部(一部抜粋・随時募集中！)

- ・「大学ボランティアセンター」に関するもやもや部(大学ボラセンの役割、ボランティアコーディネーションとは?)
- ・「スマホ教室」に関するもやもや部(シニア向けスマホ教室の参加者層を広げたい)
- ・「自分の性」に関するもやもや部(ジェンダーに関するもやもやを語り合える場がほしい！)

事業目的

地域の活動に関わる人を増やすための市民活動の種まき



いわての若者の地域活動の動向

(岩手県内の若者の地域活動から見た場合)

地域活動の盛り上がり度(参加者・活動頻度等)

多くの若者が
沿岸地域に出向き
復興支援活動に参画

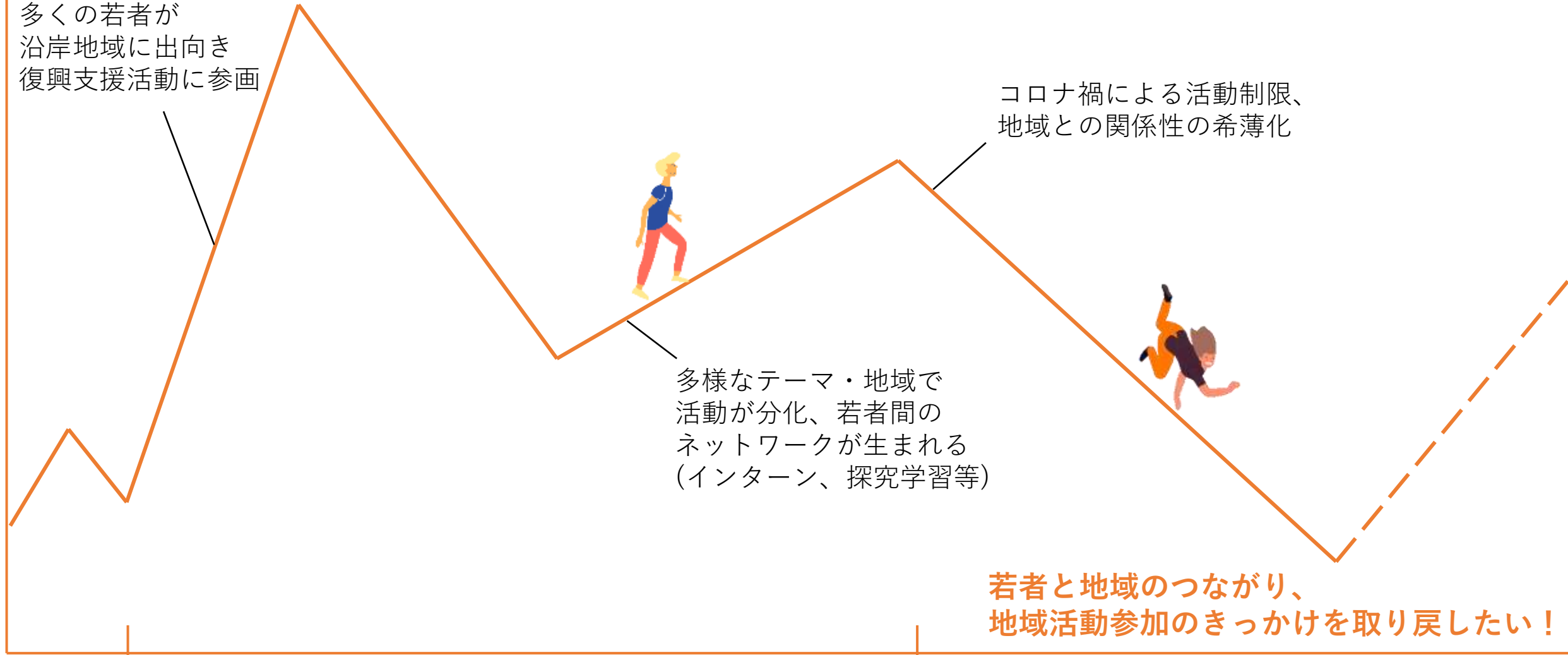
コロナ禍による活動制限、
地域との関係性の希薄化

多様なテーマ・地域で
活動が分化、若者間の
ネットワークが生まれる
(インターン、探究学習等)

若者と地域のつながり、
地域活動参加のきっかけを取り戻したい！

東日本大震災(2011)

新型コロナウイルス感染拡大(2020)



本事業の対象となる若者

1) リーダーを支えるフォロワー的存在である
小さな主人公も大事

「リーダー的な主人公」

NPO・社会的企業等の立場で
新たな道を切り拓く



「小さな主人公」

普段はあまり表には
でないけれど、NPOや
地域の活動には興味関心がある



自分たちでよければやるよ～

2) 市民活動の担い手は体験型プログラムや
小さな成功体験から育まれる

やりたいことが
まだわからない…

自分のできるところから
もう少し何かやってみよう！

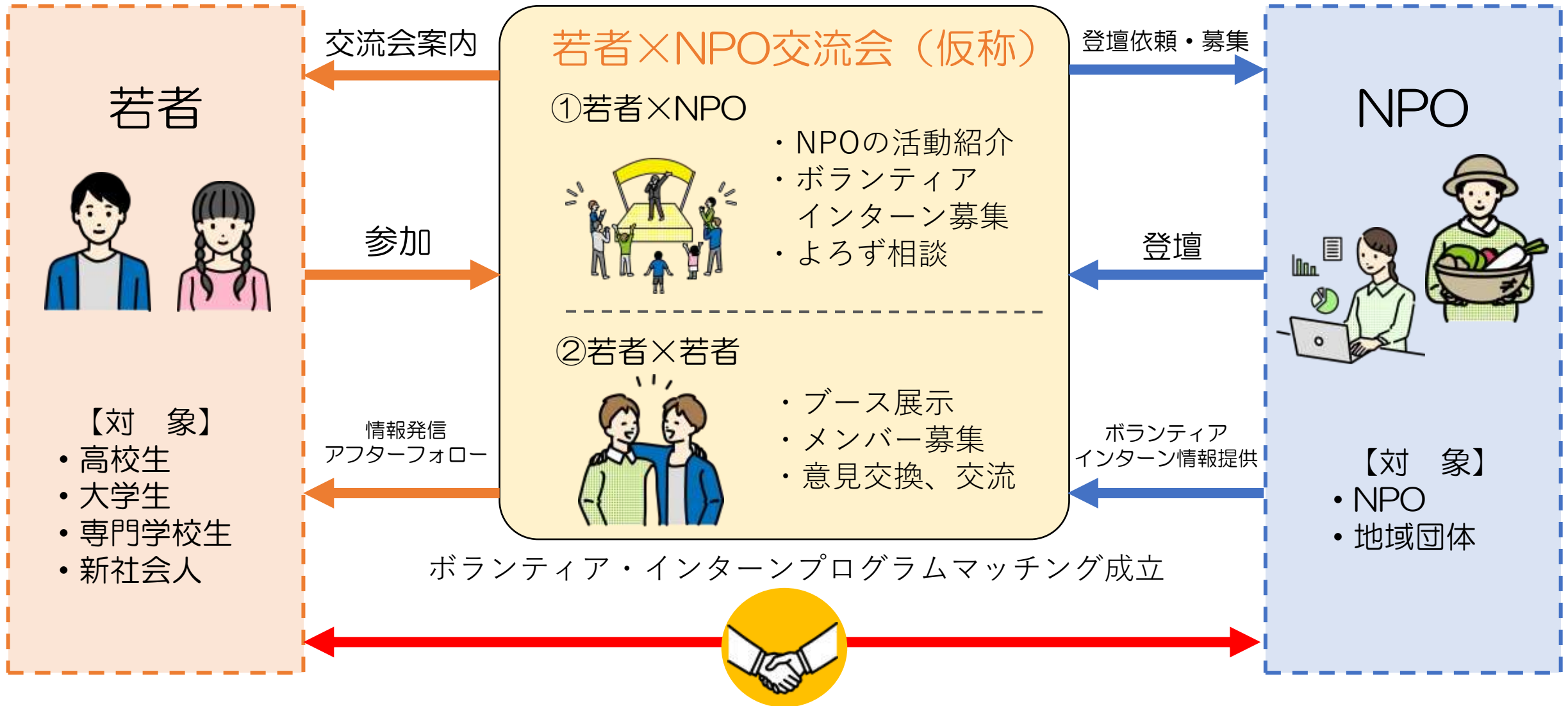


自分に自信がない…

まずは企業に就職するけど
できる範囲で地域に関わり続けたい！

※本来、すべての人はその方の人生における主人公であり、主人公に大きいも小さいもないところですが、今回はあえて新たな動きで社会を切り拓かれ、時に表舞台に立つこともあるリーダー的な主人公との対比で「小さな主人公」という表現を用いています。

事業概要



※交流会後は受入れ団体と交流会参加者とのアフターフォロー、活動マッチング後には活動参加希望者へ交通費補助のサポートをすることで若者が地域活動へ一歩踏み出す後押しを予定しています。



2) いわて学生ボランティアネットワーク ～2022年度の取組み③～

事業③「いわて若者図鑑(仮称)」作成～若者や地域との連携促進～



「いわての若者とつながりた
• と思ったら開く図鑑

県内で活動する若者団体(NPO・サークル・有志団体含)の取組みや連携したいポイントを紹介した「いわて若者図鑑(仮称)」を作成・配布します。紹介冊子を通じて、テーマを横断した若者ネットワークの拡大や、地域および若者団体同士の連携促進を図ります。また、データ版もSNS等を通じて公開し、年度ごとに掲載情報をアップデートすることで、団体の生存確認・継続的な関係構築もねらいとします。

◆「掲載してもいいよ！」という団体、募集してます！◆

対象: 岩手県で主に若者(15～39歳)を中心に活動している団体・プロジェクト
詳細は右側のQRコードを読み込んでください。



